

平成 22 年度事業報告

○概要

平成 22 年度の初めには、大不況に陥ってから 1 年半が経ち、ようやく立ち直りの兆しが見え始め、国策によるエコ商品奨励施策や新興国との貿易回復によって、秋口に向け日本経済の本格的回復が期待され、特に高年齢者の雇用環境の好転を願っていたところです。従って国政による景気への一層の後押しを期待していたわけですが、6 月初めに鳩山民主党連立内閣が総辞職、代わった菅内閣も国民の支持率が継続せず、政局は不安定な状態で推移しました。

一方、夏頃から EU 諸国の金融危機によって円高基調となり、政府による為替介入や日銀のゼロ金利政策も功を奏せず、輸出企業を中心に業績が伸びず、企業の海外シフトが進み、景気は足踏み状態となって雇用環境も改善されず、大卒者の就職内定率は、統計史上最低の 70% 前後に留まりました。

この状況下で、去る 3 月 11 日突然 M9 の宮城沖巨大地震が発生、これにより太平洋沿岸一帯に大津波が押し寄せ各集落を全滅させ、同時に福島第 1 原発を破壊し、放射能漏れを起こすなど、東日本各地が災害の渦に巻き込まれ、死者、行方不明者合わせて 2 万 5 千人を超える未曾有の大被害となりました。このため国政を始め生活に至るまで全てが急転直下、震災対策一色に化しました。

このように社会情勢が変化した状況下での当センターの運営ですが、まず特別な事務作業として「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」などに基づいて県知事の再認定を受けて、平成 23 年 4 月 1 日付で新公益社団法人へ移行するための準備を行いました。平成 22 年 9 月 17 日臨時総会を開催して新定款を決定したほか、経理事務は新会計基準を適用するなど段階的に事務を進め、去る 3 月 22 日付で県知事から新法人設立を認可されました。これにより民法に基づく現社団法人は、年度末の 3 月 31 日をもって解散となりました。

今年度の新たな問題は、民主党政権が前年に開催した行政刷新会議で、シルバー事業に対する国の補助金 3 分の 1 縮減を打ち出し、初年度の平成 22 年度は、当センターで 155 万円が縮減となったことです。これにより自主・自立へ向け一層の体制づくりを迫られることになりましたが、現下の情勢から受注量の増による自主財源の確保は急には望めないことから、前年度末の地区懇談会で行った会員からの意見集約のとおり、経費節減の 1 策として社会奉仕活動、地区懇談会及び親睦旅行に対する助成金を従前の約半額にすることで、財源不足に対応しました。

当センターの年度末における会員数は 912 人で、未就業者の退会などにより若干減少しました。

事業については、皆さんの協力で計画通り実施できました。主なものについて申し上げますと、派遣事業を含む受託事業の受注額は 4 億 5 8 万 7 千円と前年度並みでしたが、材料費率が低いことから配分金及び事務費共に増となりました。これは就業の確保に力を入れ、リピーターの掘り起こしを行ったことなどの成果と思われます。

最近、発注者は、質の高い労務を求めているのに対し、会員は入退会が多いことから、技術力アップへの取り組みが継続的課題となっています。このため各種講習会を設定して、不慣れな会員に参加を呼び掛け、知識、技能の向上に努めました。

安全推進については、シルバー事業の再優先の課題であり、常に思想の高揚に努めていますが、気の緩みが事故につながってしまいます。そこで平成 22 年 9 月 17 日開催した第 8 回就業安全

大会において「安全確認 声かけ運動」を提唱し、いつ、どこでも、だれでも声かけを行い、事故撲滅の推進を図る申し合わせをしました。

シルバー事業は、会員が就業や地域活動を行って地域に貢献し、生甲斐とすることが目的ですから、地域の皆さんにシルバー事業をよく理解していただくことが大切です。今年度も各地区班ごとに社会奉仕作業や各地区のイベントに参画してPRに努めました。

また運営上の泣き所は、会員は各家庭に居るため方針などが浸透し難いことです。このため数年前から4つを義務出席と定めて出席を促し、意思疎通に努めていますが、この意味で2～3月に実施した第6回地区懇談会では、延べ769人、出席率81.5%と過去最高の会員の出席を得て、国の補助金削減対応策など、来年度へ向けた重要課題について話し合いができ、有意義な懇談会でありました。

当センターの平成22年度収支決算状況は、当初予算では赤字計上でしたが、経営努力、特に受託事業が当初予算額を上回ったことなどにより黒字決算となりました。これは構成市町村の従前と変わらない支援によるところが大きく、感謝申し上げます。

さて、前述の東日本大震災の復興には、国民の総力を傾注しなければならないと思います。高齢化が進む中で高齢者の環境は一層厳しさを増すことが見込まれます。この時こそ会員が運営に参画し、協同して課題に取り組み、困難を克服して当センターの使命を果たしていくことが大切であります。

以下、本年度実施しました主な事業につきまして、実施状況を報告いたします。

○主な事業の実施状況

1 会員の状況

区 分	本年度末 会員数	前年度末 会員数	増減	本年度 新入会員数	本年度 退会会員数
男	688人	696人	△8人	108人	117人
女	224人	250人	△26人	33人	58人
計	912人	946人	△34人	141人	175人

2 受託事業等の実績

(1) 一般事業

項 目	本年度	前年度	比較
受 注 件 数	4,948 件	4,460 件	448 件
契 約 金 額	399,050,228 円	394,609,778 円	4,440,450 円
配 分 金 額	356,433,685 円	347,841,260 円	8,592,425 円
就 業 延 日 人 数	82,601 日人	81,983 日人	618 日人
就 業 率	98.6%	95.7%	2.9ポイント

(2) 独自事業（再計）

区 分	契約金額		内 容
	本年度	前年度	
おさらい教室	568,500 円	537,000 円	夏46人 冬28人 春39人 計113人
特別学習教室	3,687,390 円	3,643,290 円	小学生6人 中学生26人
門松づくり	1,286,500 円	1,277,460 円	門松82基、ミニ門松109基、しめ縄他
手作りの会	155,850 円	114,200 円	イベントで展示、即売
刃物研ぎ	144,450 円	98,500 円	イベント及び作品展で実施
火災報知機設置	7,600 円	8,067,700 円	
合 計	5,850,290 円	13,738,150 円	

(3) 一般労働者派遣事業

平成21年度から1社に対し行って来ましたが、平成22年8月をもって終了しました。

就業延日人数	会員賃金	手数料・消費税	合 計
351 日人	1,299,846 円	337,937 円	1,637,783 円

(4) 企画提案事業

平成21年度から、国、市町村の補助を受けて「高齢者生活援助事業及び生きがい活動支援事業」として取り組んでいます。

①事業実施の状況

世帯の状況

高齢者支援（環境整備、家事支援）	105世帯
高齢者支援（農作業）	33世帯
認知症サポート	9世帯
計	147世帯

会員の状況

高齢者支援（環境整備、家事支援）	113会員
高齢者支援（農作業）	51会員
認知症サポート	15会員
計	179会員

②認知症サポーター養成講座の開催

日にち 1月27日（木）

場 所 県公民館

内 容 「認知症を理解することから始めてみませんか できることから一歩ずつ」

講師 嵯峨接骨医院長 尾曾 元広 氏

出席人数 53人

3 公益法人移行認定手続き

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律他関係法令の規定により、当年度中の移行認定をめざして各手続きを進め、県知事から公益法人の認定を受けました。

(1) 移行手順

5月27日 通常総会において「公益社団法人への移行について」の議案を可決

9月17日 臨時総会において「社団法人飯田広域シルバー人材センター定款の全部改正について」他2議案を可決

10月13日 県知事あて「移行認定申請書」提出（電子申請）

3月 2日 県認定審査会で認定の答申

3月22日 県知事から公益法人の認定を受ける

(2) 移行に向けての研修会等

4月 7日 長野県総務部情報公開・私学課 協議

6月 9日 新公益法人経理研修会 県シ主催 （松本市）

7月28日 長野県総務部情報公開・私学課 協議

11月15日 新公益法人移行説明会 県シ主催 （松本市）

4 就業開拓の取り組み

(1) 就業機会創出員1名（業務係と兼務）を配置し、常時新規開拓に努めました。

(2) 緊急雇用対策事業を活用して「ふるさと雇用再生事業支援アドバイザー」を1名設置し、南信8地区シルバーの就業開拓に取り組みました。

(3) 昨年度に引き続き、1会員1就業開拓に取り組みました。

(4) 55歳以上の高齢者の多様な就労を支援するための、シニア就業支援プログラム事業により県シルバー人材センター連合会により「地域ニーズ開拓員」1名を設置し、就業開拓に取り組みました。

5 会員加入の促進

2月を除いて毎月、全11回の入会説明会を実施し、計148人の出席がありました。

また、喬木村において全戸を対象としたシルバー加入のチラシを配布し、入会相談会を実施しました。

6 地区懇談会の実施

センターの運営方針を会員に伝達すると共にセンター活動に会員の声を反映させるため、地区懇談会を開催しました。今年度は補助金等の削減の概要とその対応策についてをメインテーマに、各地区で熱心な論議が交わされました。

どの地区も多くの方が出席していただき、地区全体で80パーセントを超す出席率となりました。

地区名	会員数 人	地区出席 人	全体会出席 人	合計 人	出席率	前年度 出席率
橋北・橋南	43	30	1	31	72.1%	78.0%
羽場	28	26	1	27	96.4%	68.6%
東野・丸山	36	22	3	25	69.4%	71.0%
松尾	65	48	7	55	84.6%	77.1%
下・上久堅	41	28	7	35	85.4%	85.7%
龍江・千代	43	34	5	39	90.7%	68.9%
竜丘・川路・三穂	77	57	7	64	83.1%	69.1%
伊賀良・山本	96	70	6	76	79.2%	75.8%
鼎	128	92	10	102	79.7%	85.8%
上郷・座光寺	151	114	7	121	80.1%	65.4%
遠山	39	34	0	34	87.2%	69.0%
高森町	49	36	4	40	81.6%	61.2%
豊丘村	57	49	1	50	87.7%	90.2%
松川町	56	43	1	44	78.6%	68.8%
喬木村	34	23	3	26	76.5%	85.7%
合 計	943	706	63	769	81.5%	74.5%

会員数は2月末現在

7 関係機関との連携

構成市町村と密接な情報交換を行い、理解、協力を得る中で、補助金等の確保及び緊急雇用対策事業や、企画提案方式事業など、事業の確保を図りました。そのため、構成市町村担当課長会議を2回開催しました。

この他、全シルバー統一要請行動として「平成22年度全国シルバー人材センター事業協会

定期総会決議」及び「事業仕分けを受けてのお願い」文を構成市町村長さんにお届けしました。

8 普及啓発活動

会員及び地域に、シルバー事業の理解を深めていただくため、次のようなPR活動を行いました。

(1) 「シルバーだより」年間3回（第69号～71号）発行

(2) 市町村イベントに参加し啓発活動実施

飯田市	生活と環境まつり	10月16、17日	紹介コーナー、即売、刃物研ぎ
松川町	ふれあい広場	10月17日	紹介コーナー、即売、刃物研ぎ
喬木村	喬木村総合文化祭	11月6日	紹介コーナー、即売
豊丘村	豊丘まつり	11月13、14日	紹介コーナー、即売
高森町	たかもりふるさと祭り	11月20、21日	紹介コーナー、即売、刃物研ぎ

(3) シルバーのぼり旗の活用 各種事業にPR用として活用

(4) 市内循環バスにステッカー広告掲載

9 社会奉仕活動の取り組み

シルバーの基本理念の一つである奉仕の精神の発揮の場として、またシルバーのPR活動の一環として、地区班ごとに地域の公共施設を中心に社会奉仕活動を実施しました。

地区名	実施月日	参加人数	活動内容
橋北・橋南	8月1日	17人	りんご並木通りの除草、清掃
羽場	9月13日	19人	セントラルパーク内の草刈り、清掃
丸山・東野	2月24日	23人	風越寮、東野公民館の窓拭き
松尾	7月29日	34人	ほっ湯アップル、竜水公園の草刈り、清掃
下・上久堅	9月24日	28人	自治振興センター、竜東デイ周辺の草刈り、清掃
千代	8月6日	14人	毛呂窪マレットゴルフ場の草刈り、支障木撤去
龍江	7月26日	14人	特養ゆいの周辺草刈り、厨房の刃物研ぎ
竜丘	9月28日	27人	自治振興センター周辺の草刈り、清掃
川路	9月13日	8人	ハートヒル川路の草刈り、植木剪定、清掃
三穂	7月29日	9人	自治振興センター周辺の草刈り、清掃
伊賀良 ・山本	8月29日	28人	運動公園内の草取り、清掃
	9月5日	47人	〃
鼎	7月23日	77人	自治振興センター、公民館他草刈り、植木剪定、清掃
	10月15日	62人	〃
上郷	9月10日	48人	野底山森林公園の草刈り、清掃
	10月5日	27人	平和殿の清掃、剪定 老人福祉センター周辺の清掃他
座光寺	7月25日	24人	麻績の里周辺草刈り、清掃
遠山	10月12日	32人	遠山荘の窓拭き、清掃
高森町	6月25日	33人	あさぎり健康センター他草刈り、清掃
豊丘村	7月17日	48人	役場、河野憩いの家周辺の草刈り、植木剪定など
	11月13、 14日	47人	とよおかまつり駐車場管理

松川町	7月13日	22人	松川IC駐車場、子育て支援センター他草刈り ”
	10月31日	29人	
喬木村	10月16日	15人	運動公園草刈り、喬木荘樹木剪定
合 計		延べ732人	

10 シニアワークプログラム事業（受託事業）

55歳以上の高齢者を対象に、就業、就職、社会参加への支援をする事業として、県連合会からの受託事業として次の事業を実施しました。

内容 果樹アシスタント講習 全5回

講習内容	実施期日	参加人員	実施場所
果樹園作業（摘果等）	4月30日	63人	松川町交流センター「みらい」
”（葉摘み、玉回し）	9月14日	31人	松川町交流センター「みらい」
柿作業（干柿作業）	10月22日	28人	JA座光寺選果場
柿剪定	12月21日	34人	鼎上山地区農場
柿剪定	1月13日	34人	豊丘村林原地区農場
合 計		延べ190人	

11 独自の講習会の実施

会員の技術、知識の向上を図るため、次のような講習会を実施しました。

講習会名	実施期日	参加人員	実施場所
草刈り	7月9日	25人	竜水園（松尾）
剪 定	8月26日	39人	弁天閣（松尾）
門松作り	9月9日	9人	シルバー事務所
障子貼り	10月20日	18人	シルバー事務所
襖貼り	10月28日	15人	シルバー事務所
剪 定	11月26日	32人	竜水園（松尾）
剪定班技術研修	2月22日	37人	鼎自治振興センター

12 安全就業への取り組み

(1) 安全就業大会の開催

日にち 9月17日（金）

場 所 鼎文化センター

内 容 ・会員意見発表 小池 好人 会員（羽場）

・「シルバー事故の実態について」 エース損保 西ノ原 進 氏

・「腰痛予防と治療は日常の自己管理」

飯田市保健福祉部 理学療法士 塚原 茂樹 氏

◎「安全確認 声かけ運動」展開の提案

出席人数 505人

(2) 安全パトロールの実施

7月16日 県シ安全委員会のパトロール

綿半ホームセンター、剪定現場、草刈り作業現場のパトロール

10月19日 当シルバー独自のパトロール

剪定現場、りんご葉摘み現場、草刈り作業現場のパトロール

(3) 安全就業ニュースの発行等

8月 重篤事故発生警報、熱中症予防

9月 「安全確認 声かけ運動」の周知、秋の交通安全運動

3月 安全就業基準（保存版）第2版の発行

(4) 県安全適正就業推進大会への参加

10月21日 千曲市 22人参加

(5) 傷害事故等の発生状況

区分	件数	前年件数
傷害事故	2件	10件
賠償事故	3件	4件
交通事故	3件	5件

13 「はつらつ運動塾」の開催

会員の健康づくり事業の一環として実施している健康管理講習会は、今年度は飯田市の介護予防事業とタイアップして「シルバーはつらつ運動塾」として実施しました。

日程 平成23年1月12日から3月23日までの第2・4水曜日 全6回

場所 松尾公民館

指導 健康運動指導士

出席者 延べ 男 159人 女 59人 計218人

14 会議等の実施状況

(1) 総会、理事会等

5月10日	監査会	平成21年度決算監査
17日	第1回理事会	通常総会について、互助会の組織変更について他
27日	第24回通常総会	平成21年度事業報告・決算、平成22年度事業計画・予算、 「公益社団法人への移行について」他 出席者数 541人
6月1日	第2回理事会	専務理事の互選、会員互助会事業計画・予算他
7月30日	第3回理事会	新定款について、臨時総会について他
6日	第4回理事会	新定款、役員報酬規程、安全就業大会について他
17日	臨時総会	新法人移行のための臨時総会（定款の全部改正他）

		出席者数 505人
11月 1日	第5回理事会	上半期事業執行状況、未就業者、義務出席不履行者への対応について他
12月 1日	監査会	平成22年度上半期監査
12月 8日	労働局、県シ連による事務指導	
12月 15日	第6回理事会	各規程改正の取扱い、就業適正化委員会、地区懇談会の開催について他
12月 24日	就業適正化委員会	
2月 2日	第7回理事会	平成22年度事業会計決算見込みと補正予算、国の補助金削減等と財源対策、次期役員の選出について他
2月 4日	顧問への状況説明会	
3月 25日	第8回理事会	平成23年度事業収支予算、事業計画(案)、例規の改正について他
3月 29日	地区代表・班長会	運営状況、地区懇談会のまとめ、平成23年度に向けて、役員改選の手続きについて他

(2) 部会の開催状況

4月 22日	第1回広報啓発部会	シルバーだより 第69号の編集計画
5月 15日	第1回総務部会	新定款の審議方法について
5月 17日	第1回就業推進部会	今年度事業計画、就業拡大について
6月 1日	第2回広報啓発部会	シルバーだより 第69号の校正
6月 14日	第1回安全推進部会	今年度事業計画、安全就業大会について
7月 30日	第2回安全推進部会	「安全確認 声かけ運動」の検討
9月 2日	第3回広報啓発部会	シルバーだより 第70号の編集計画
9月 6日	第2回総務部会	新定款について
9月 14日	第2回就業推進部会	就業推進普及啓発月間について
9月 17日	第3回総務部会	安全就業大会について
9月 29日	第4回総務部会	公益法人移行認定申請の内容について
10月 6日	第4回広報啓発部会	シルバーだより 第70号の校正
11月 17日	第5回広報啓発部会	シルバーだより 第71号の編集
11月 25日	第5回総務部会	K社について
12月 2日	第6回総務部会	国の補助金等の状況、理事の選出ブロックについて
12月 7日	第5回広報啓発部会	シルバーだより 第71号の校正
12月 22日	第7回総務部会	第8回理事会の議案について
12月 29日	第8回総務部会	平成23年度事業収支予算(案)について

(3) 視察の受け入れ

日にち 9月27日
 視察団体 栃木県小山市シルバー人材センター 20人

日にち 1月26日

視察団体 岐阜県大垣地域シルバー人材センター 17人

(4) 関連団体の会議、研修等

- 6月 4日 県連合会平成22年度第1回通常総会（松本市）
- 18日 事務局長会議、事務局長研修（長野市）
- 22日 全シ協定期総会（東京都）
- 7月 6日 新任理事研修会
- 15日 北シ協定期総会、研修会（長野市）
- 22日 エイジレス研修会
- 26日 県連合安全・就業適正大会（長野市）
- 8月25日 岡谷下諏訪広域シルバー設立25周年記念式典
- 30日 正副理事長研修（長野市）
- 9月2、3日 新任事務局長研修（千葉県）
- 10月20日 全国経験交流大会（東京都）
- 21日 シルバー人材センター長野県大会（千曲市）
- 27日 伊那広域シルバー設立20周年記念式典
- 11月11日 北シ協研修会、経験交流会（長野市）
- 1月 7日 事務局長会議（長野市）
- 2月23日 南信ブロック職員研修会（茅野市）
- 3月 7日 事務局長会議（長野市）
- 18日 県連合会平成22年度第2回通常総会（長野市）

15 福利厚生事業

健康づくり事業のほか、福利厚生事業の一部を実施する会員互助会の活動を支援しました。